歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和８年 11 月 11 日

独立行政法人水資源機構
千葉用水総合管理所長　土田　百合子
（公　印　省　略）

１．目　的

この参考歩掛見積募集要領は、当管理所が予定している工事の積算の参考とするための歩掛及び単価の見積を募集するものです。

２．参考見積書提出の資格

(1)当機構における令和７･８年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。

(2)営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。

(3)当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成６年５月 31 日付け６経契第 443 号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

３．参考見積書の提出等

(1)参考見積書は、以下に従い提出して下さい。なお、参考見積書の様式は問いません。
（別添－１　見積書作成例　参照）

(2)提出期間　令和８年 11 月 11（水）から令和８年 12 月４日（金）まで

(3)提 出 先

独立行政法人水資源機構　千葉用水総合管理所長　土田　百合子　宛

【担当】　成田北総管理所　調査設計課　荒木

〒282-0011 千葉県成田市三里塚字御料牧場１番地２

臨空開発第１センタービル 8F

TEL 0476-33-1036　　FAX0476-33-1039

(4)提出方法

書面は持参、郵送又はＦＡＸ（社印があること）により提出するものとします。

４．参考見積内容

(1)基本条件

①　本歩掛参考見積は、石綿管撤去に係る作業歩掛ついて別添－２の条件により見積もりするものとします。

②　参考見積書の提出年月日を記入するものとします。

③　各処分費とともに処分先業者名及び住所を記載してください。

(2)見積項目は別添－2 のとおりとします。

５．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合は、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1)提出期間：　令和８年 11 月 11 日（水）から令和８年 11 月 18 日（水）まで

持参する場合は、上記期間の土曜日及び日曜日を除く毎日、午前９時から午後５時まで

(2)提出場所：３．(3)に同じ。

(3)提出方法：３．(4)に同じ。

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1)閲覧期間：令和８年 11 月 24 日（火）から令和８年 12 月４日（金）まで

(2)閲覧方法：　ホームページに掲載します。

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

８．ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

９．その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

以上

見積書作成例　　別添-1

令和８年　月　日

歩掛参考見積書

独立行政法人水資源機構　千葉用水総合管理所
所 長　土田　百合子 殿

株式会社　〇〇
〒〇〇
千葉県〇〇〇〇〇〇
代表取締役　〇〇　〇〇
電話 〇－〇－〇〇〇〇
FAX 〇－〇－〇〇〇〇
担当者　〇〇　社印

件名　石綿管撤去に関する歩掛参考見積

別紙の通り御見積り申し上げます。
見積有効期限 令和９年３月31日まで

この価格には消費税は含まれておりません。

①石綿管取外し歩掛り

ϕ500

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
特殊作業員		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、取外しに使用する工具等の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　箇所

ϕ600

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
特殊作業員		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、取外しに使用する工具等の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　箇所

②石綿管湿潤歩掛り

ϕ500

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
高圧洗浄機 工事用・ ガソリンエンジン駆動	20～21.5ﾘｯﾄﾙ/分 7.8MPa	日	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、高圧洗浄機の燃料費であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　箇所

ϕ600

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
高圧洗浄機	20～21.5ﾘｯﾄﾙ/分 7.8MPa	日	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、高圧洗浄機の燃料費であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　箇所

③石綿管切断歩掛り

ϕ500

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
特殊作業員		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
コンクリートカッター26インチ賃料	バキューム・湿式・エンジン駆動	人	○.○			
		式	1			

諸雑費は、カッターブレードの損耗費等の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　箇所

ϕ600

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
特殊作業員		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
コンクリートカッター26インチ賃料	バキューム・湿式・エンジン駆動	人	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、カッターブレードの損耗費等の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　箇所

④石綿管粉塵濃度測定歩掛り（１回あたり）

ϕ500

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、粉塵濃度計のリース費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

ϕ600

1 箇所当たり　　10 箇所計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、粉塵濃度計のリース費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

⑤石綿管引抜歩掛り（１箇所あたり）

ϕ500

1 m当たり　　10 m計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
土木一般世話役		人	○.○			
特殊作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
バックホウ運転	山積0.28m^3・吊能力1.7t	日	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、○の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　m

ϕ600

1 m当たり　　10 m計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
土木一般世話役		人	○.○			
特殊作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
バックホウ運転	山積0.28m^3・吊能力1.7t	日	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、○の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　m

⑥石綿管梱包歩掛り

ϕ500

1 m当たり　　4 m(1本)　計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
土木一般世話役		人	○.○			
特殊作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
石綿梱包シート	ϕ500用水道用ポリエチレンスリーブ	袋	2	○○		建設物価P○
固定具	ϕ500用					
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、○の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　m

ϕ600

1 m当たり　　4 m(1本)　計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
土木一般世話役		人	○.○			
特殊作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
石綿梱包シート	ϕ600用水道用ポリエチレンスリーブ	袋	2	○○		建設物価P○
固定具	ϕ500用					
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、○の費用であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

日当り施工量　　○　　m

⑦石綿管積み込み歩掛り

ϕ500

1 m当たり　　10 m計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
特殊作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
バックホウ運転	山積0.28m3・吊能力1.7t	日	○.○			

日当り施工量　○　m

ϕ600

1 m当たり　　10 m計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
特殊作業員		人	○.○			
配管工		人	○.○			
普通作業員		人	○.○			
バックホウ運転	山積0.28m3・吊能力1.7t	日	○.○			

日当り施工量　○　m

⑧石綿管小運搬歩掛り

ϕ500

1 回当たり(4t車)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
トラック	4t	日	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、ブルーシート等の損耗費であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

ϕ600

1 回当たり(4t車)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
トラック	4t	日	○.○			
諸雑費（率）		式	1			

諸雑費は、ブルーシート等の損耗費であり、労務費の合計額に○%を乗じた金額を計上する。

⑨石綿管取卸し歩掛り

ϕ500

1 m当たり　　10 m計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
バックホウ運転	山積0.28m3・吊能力1.7t	日	○.○			

日当り施工量　○　m

ϕ600

1 m当たり　　10 m計上

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
普通作業員		人	○.○			
バックホウ運転	山積0.28m3・吊能力1.7t	日	○.○			

日当り施工量　○　m

⑩石綿管運搬費

1 回当たり

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
基本料金	7tコンテナ	回	1	○○	20km以内	
距離加算費	7tコンテナ	回	1	○○	10km超えるごとに	

収集運搬業者　○○会社
千葉県知事　許可○○○○○○○○

⑪特別管理産業廃棄物処分費（１空m3あたり）

1 空m3当たり

名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
処理費		空m^3	1	○○		

処理業者　○○会社
千葉県知事　許可○○○○○○○○
処分場　千葉県○○○○　○番地

（別添－２）

１．工事基本条件

石綿管撤去作業に係る各種歩掛り見積および単価見積を依頼するものであり、石綿管を撤去にあたり作業手順は以下を想定している。

石綿管は、主に道路下に埋設されている。工事用道路は、片側通行により確保されている。

本見積りは、石綿管の撤去のみを見積るものとし舗装版撤去・掘削・埋戻し、簡易土留め設置撤去・水替え・舗装復旧等の手間は本参考見積りには含めないものとする。

２．工事費の構成と歩掛見積徴取範囲

本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編)」(以下「基準書」という。）によるものとします。

歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接費のうち工事実施に必要な作業員、資機材の人数等を徴取します。

見積りは、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等（少数第２位まで）を記載願います。

見積り金額は、消費税及び地方消費税の額を含まない金額としてください。

建設物価及び積算資料に掲載されている材料は当該書籍の価格を記載願います。

３．労務者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

４．作業項目、作業内容

石綿管は１種で標準長４ｍで、原形（レベル 3（非飛散性))として扱う前提ですが、撤去等が困難な場合、切断等を想定しています。

１）掘削（管水路土工）　別途工事

管頂 10 ㎝まで：機械掘削、管頂 10 ㎝から管底まで：人力掘削

２）石綿管取外し（１本目）

掘削した後、継手２箇所の人力取外しを行う。

→現場条件等により継手箇所を掘削できない場合は、石綿管の切断を行う。

３）石綿湿潤（１本目）

切断の際、アスベストが飛散しないよう、高圧洗浄機等で常時湿潤な状態を保つ。

４）石綿管切断（１本目）

コンクリートカッター等で切断する。

5）石綿管粉塵濃度測定（１回あたり）

やむを得ず切断作業を行う場合に適用する。

6）石綿管引抜き（２本目以降）

２本目以降は管上・管横を掘削した後にバックホウによる引抜きを行う。

7）石綿管梱包

撤去した石綿管については、プラスチック袋等で２重に梱包するものとする。

8）石綿管積み込み

梱包した石綿管について、吊上げ積込みする。

9）石綿管小運搬

荷台に積み込みされた、石綿管をブルーシート等で養生し、現場内の仮置き場へ運搬する。平均運搬距離は、約 250ｍとします。使用可能な車両は４ｔ車までとします。

10）石綿管荷下ろし

荷台に積み込みされた、石綿管を仮置き場へ荷下ろしします。

11）石綿管運搬

仮置場でコンテナ等に積み込みされた、石綿管を処理場まで運搬します。

仮置き場は７ｔ車が出入り可能です。産業廃棄物収集運搬業許可を有し、石綿含有産業廃棄物を含むの表示が必要です。

12）石綿管処理

搬入された、石綿管を荷下ろし処分を行う。

処理場にて受入不可な場合のプラスチック袋、保護具、石綿粉等を特別管理産業廃棄物として処分する。

５．見積項目（単位）

①石綿管取外し歩掛り（１箇当たり）

②石綿管湿潤歩掛り（１箇所当たり）

③石綿管切断歩掛り（１箇所当たり）

④石綿管粉塵濃度測定（１回当たり）

⑤石綿管引抜歩掛り（１箇所当たり）

⑥石綿管梱包歩掛り（１ｍ当たり）

石綿管梱包に係る材料費も含めるものとします。

⑦石綿管積み込み歩掛り（１ｍ当たり）

⑧石綿管小運搬（１回当たり）

⑨石綿管運搬歩掛り（１回当たり）

⑩特別管理産業廃棄物処分費（１空m^3あたり）

６．見積対象石綿管

φ500　１種管　約 240m

φ600　１種管　約 800m

７．見積有効期限

令和９年３月 31 日まで

参 考

写真は、素掘施工となっていますが、今回の歩掛参考見積はたて込み簡易土留めによる施工を想定願います。写真中の石綿管はφ350です。

石綿管は、原則として原形のまま（非飛散性）扱うものとします。

引抜き後



梱包



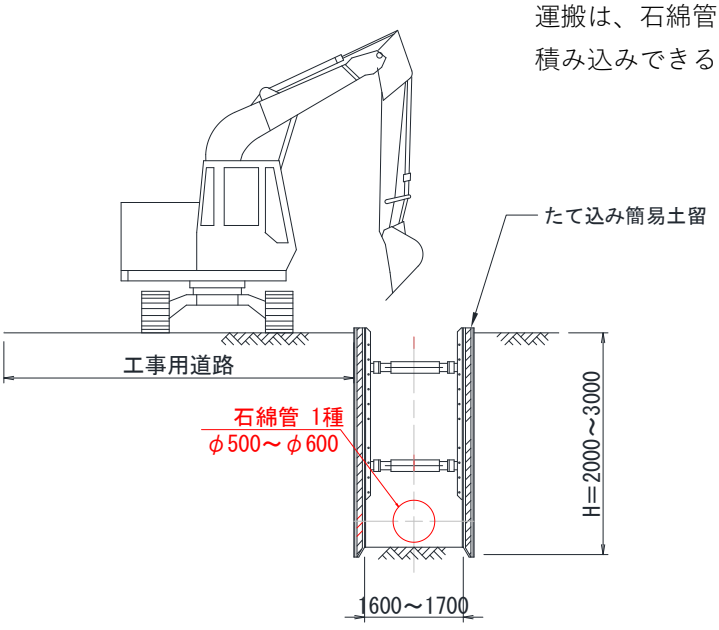
運搬車



仮置き場からコンテナへの積込み



施工箇所標準断面図



運搬は、石綿管(標準長 4m)を切断無しで積み込みできる車両又はコンテナ